JAPAN CREATE

販売店

TAKUMI DENKI

世界家電を
激安通販！ **匠電器**

ご注文専用フリーダイヤル　:0120-512-100
製品に関するお問い合わせ　:050-5509-5123
FAXでご注文･お問い合わせ　:093-967-1369

パソコン：http://www.takumiworld.jp/
モバイル：http://www.takumiworld.jp/i/
メール　：support@takumiworld.jp

500W Electric Kickboard

Devil3

JAPAN CREATE ®

OWNER'S MANUAL

デビル３組立説明書

株式会社JAPAN CREATE

DEVIL3-V2.5

本製品に関する重要な内容です。

はじめにお読みください！

デビル３ご使用にあたって

■取扱説明書をよく読み、正しくお使い下さい。
■ご利用前に本製品本体に貼ってある注意ラベルや印を必ずご確認ください。
■工場出荷時には未調整の状態で出荷されております。
■電動キックボードDEVIL3(以下:本製品)をご使用になる前に本説明書に基づき各部の組立て･調整を行って下さい。
■本製品は海外からの輸入商品のため、長期輸送によりボルトなどに緩みが生じている場合があります。必ず初回走行前に各部ボルトを締めなおしてください。
■付属の工具はサービス品の為、保障の対象外となります。また、海外製造品のためツールの精度に若干の誤差がございます。
■ケガなどしないように軍手を着用してから作業を行ってください。
■調整を行う前に必ず電源を切り、ヒューズやコンセントなどを抜いた状態でアクセルを回し、完全に動かないことを確認した上で作業を行ってください。
■調整はお客様ご自身の責任において行ってください。調整により生じたいかなる損害に対しても当店は責任を負いかねます。
■運転に慣れるまで時間がかかる場合がございます。走行やブレーキ、右左折、スピードなど、まずは安全な場所でよく練習してからお使いください。
■本製品は500ワットモーター付の高速キックボードです。スピードの出し過ぎにご注意ください。
■本製品は玩具ですので公道を走らないで下さい。電動式のモーターにより走行する「電動バイク」や「電動スクーター」、「電動式キックボード」は、道路交通法並びに道路運送車両法上の原動機付自転車に該当します。原動機が内燃機関(エンジン)ではなく、電動機であっても、定格出力0.60キロワット以下が原動機付自転車とされています。(道路交通法第2条第1項第10号)
■本製品の使用に関する危険については、自己責任にてご利用ください。
■視力、バランス感覚、反応神経、骨の強度、筋肉の強度が優れている方のみご利用ください。
■車や人が多い道路･場所などで走行しないでください。
■本製品は電動式です。雨、雪、水溜り、海沿い、川沿い等、湿潤状態の場所で使用しないでください。
■本製品専用パーツ以外の装備･装着･改造などによって生じたいかなる損害に対して当店は責任を負いかねます。また、前述のような状態が確認された商品に関しては保証の対象外となります。
■本製品はオフロード用ではありません。故障の原因となりますので、水濡れの恐れのある場所や極限環境での走行はしないでください。
■予告なく、デザイン･仕様の変更を行う場合がございます。予めご了承ください。

バッテリーの充電＆メンテナンスについてのご注意

① ご使用前 ･ご使用後に充電してください。(充電方法は 8 ページ参照)
② 収納する前に必ず充電してください。また、長期間使用しない場合、30 日に一度、必ず充電してください。
③ 駆動時間が短い場合、充電器のランプが 「緑と赤」になってから、更に 6 ～ 10 時間充電してください。
※使用頻度 ･使用環境により異なります。
④ バッテリー切れになるまで使用しないでください。バッテリーが完全に無くなる前に必ず充電してください。
⑤ 安全のため、24 時間以上充電しないでください。
⑥ 充電する前に必ず電源を 「OFF」の状態にしてください。

WARNING 注意事項に従ってご使用頂けなかった場合、保証の対象外となります。

本商品は公道では走行できません。道路交通法を守り、安全運転を心掛けてください。
ご利用の際はヘルメット ･膝パッド ･肘パッドの着用をおすすめ致します。
数値は全てカタログ値です。

目 次 Index

● はじめにお読みください！ ･･･････････････ P1
● 目次
1 まずはデビル3を知ろう！(各部名称)
◎まずはデビル3を知ろう ･･･････････････ P3
◎ご使用前に行いましょう ･･･････････････ P4
2 組立てよう！
◎ハンドルを取り付けよう･前輪タイヤを取付よう ･･ P5
◎ハンドルを立てよう･ヒューズを取り付けよう ･･･ P6
◎サドルを取り付けよう･ハンドルを固定しよう ･･･ P7
3 動かしてみよう！
◎動かしてみよう･充電しよう ･･･････････････ P8
4 調整しよう！
◎ブレーキを調整しよう ･･･････････････ P9
5 組立て･調整しよう！
◎サドルを組立て･調整しよう ･･･････････ P10
◎後輪タイヤを組立て･調整しよう ･･･････ P11
後輪タイヤを組み立てる-1 ･･･････････ P12
後輪タイヤを組み立てる-2 ･･･････････ P13
6 動かない時はチェック･交換しよう！
◎ヒューズをチェック･交換しよう ･･･････ P14
◎プラグ、断線をチェックしよう ･･･････ P15
◎ランプでチェックしよう ･･･････････ P15
◎バッテリーを交換しよう ･･･････････ P16
◎リレー回路を交換しよう ･･･････････ P17
7 メンテナンスしよう！
◎メンテナンスしよう ･･･････････････ P18
8 ご使用にあたっての注意
◎バッテリーについて ･･･････････････ P19
◎水濡れに関して･故障かな?と思ったら ･････ P20
9 保証に関して ･･･････････････ P21
10 ラインアップ ･･･････････････ P22

1 まずはデビル3を知ろう!(各部名称)

付属品

工具入れ

六角レンチ
3.0mm×1本
5.0mm×2本
6.0mm×2本

充電アダプター

ヒューズ20a ×2個

エクステンションバルブ ×1本

スパナ(13･17)×2本

ご使用前に行いましょう

WARNING

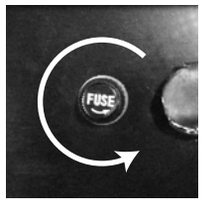
●濡れた手で充電を行わない　●充電器をお子様に触れさせない ※充電は必ず保護者の方が行ってください
●本来の使用用途以外に使用しない　●注意事項を守って楽しく安全に遊びましょう

本製品が届いた際、メーター表示が充電済みであっても
使用前に6〜10時間の充電をお勧めします。

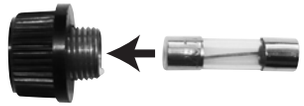
Step 1 ヒューズを取付ける

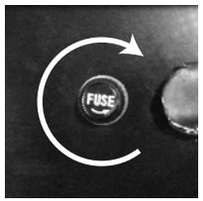
必ず最初にヒューズの取付を行う

※必ず、本体メインスイッチを OFF にして作業する！



ボディ横のキャップを回して開ける。


キャップにヒューズを差し込む。



元の様にキャップを回して閉める。

Step 2 充電アダプターをつなぐ

1. 本体電源がOFFになっているか確認する。
2. 充電器をコンセントにつなぐ。(充電器の緑ランプ点灯)
3. 本体の充電プラグの蓋を開き、充電器と充電プラグを繋ぐ。
   (このとき、赤ランプが点灯。検品用の充電が残っている場合、緑ランプが点灯します。)
4. 6〜10時間充電し、充電器のランプが緑に変わったら充電完了。
   (※初回の充電でランプがすぐに緑に変わった場合、検品のための充電が残っている状態です。初回充電の場合、6〜10時間の充電を行ってください。)

※明るい場所では充電器のランプ点灯が見えずらい場合がございます。

過充電・放置放電は故障の原因となります！
バッテリーの充電量が完全に無くなると再充電できなくなります。

2 組立てよう!

1 ケガをしないよう、手袋を着用して作業して下さい。
本体を箱から取り出し、安全な場所に置いて下さい。

ハンドルを取り付けよう

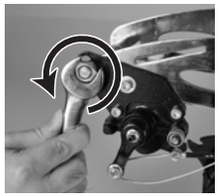
2 ハンドル固定用のネジ2カ所を緩める。

3 ハンドル軸に通し、ハンドル固定用ネジ2カ所を絞めて仮止めする。

前輪タイヤを取り付けよう

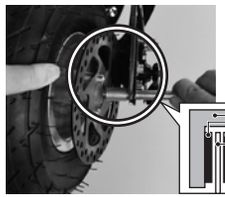
前輪タイヤは左図の順番で取り付けます。長さ・方向を間違えないよう、ご注意ください。

※ハンドルを向かって右に傾けて作業すると取付が簡単です。



4 左右の前輪軸ナットを緩める。

5 軸を抜き取る。



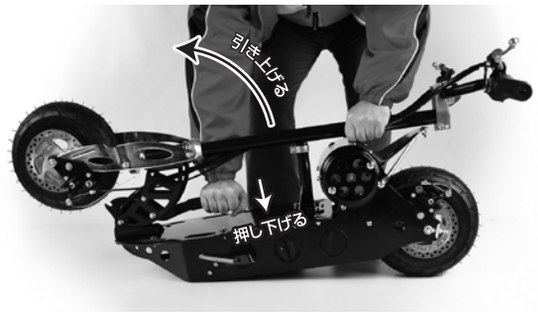
6 ディスクブレーキをブレーキパッドの間に差し込み、短スペーサーを通した長ボルトをホイールの穴に通す。

7 ホイールとフロントフォークの間に長スペーサーを挟み、軸を通す。

8 ナットを取り付ける。

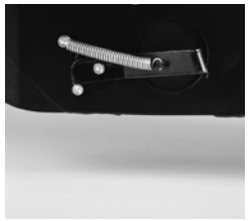
9 スペーサー(長)→フロントフォーク→ナットの順に長ボルトを通し、両サイドからスパナで絞める。

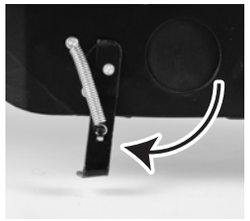
ハンドルを立てよう



10 ワンタッチレバーを押し下げながら、ハンドル軸を引き上げる。
注:力を要します。手を挟んだり、ケガにご注意ください。

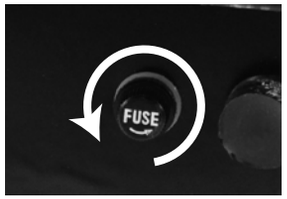
ハンドル軸が、ほぼ90度まで立てる。
(軸は2段階で立ち上がります)



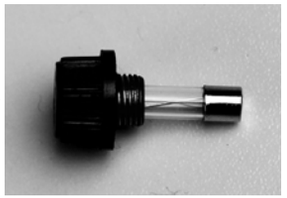


11 ハンドルを立ち上げたら、スタンドを立てて自立させる。
スタンドを立てて自立させると、後作業がしやすくなります。

ヒューズを取り付けよう

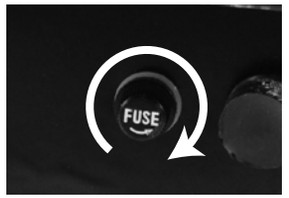


12 ボディ右側面にあるフューズボックスのキャップを外す。



13 添付されているヒューズをキャップに差し込む。

14 キャップにヒューズをセットしたらヒューズボックスに装着する。



15 ヒューズボックスのキャップをしっかりと閉める。

2 組立てよう!

サドルを取り付けよう

16 サドル軸をサドル裏の固定用金具へ差し込む。

サドル軸に付いているストッパー金具(金属の突起物)と穴が前方正面になるよう設置してください。

16 固定用ナットを左右両側からしっかりと締める

17 サドル軸のストッパーを台座のスリットに合わせ押し込む。

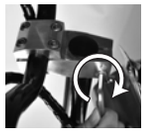
18 ストッパーがスリットの穴から出ている事を確認。

19 サドルの位置・方向を確認したら固定用金具でしっかりと固定する。

ハンドルを固定しよう

20 ハンドルを真っ直ぐに調整する。
このとき、タイヤを足で挟み、ハンドルを両手で持ち調整すると簡単です。

タイヤを足で挟んで行うと
比較的簡単に調整できます



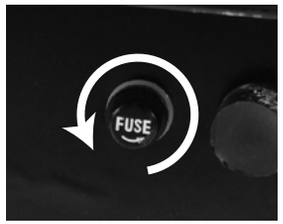
ハンドルの位置が決まったらハンドル固定用のネジ、左右計2カ所をしっかり絞める。
ぐらつき・ガタつきがなく、しっかり固定された事を確認する。

完成!

道路交通法を守り、安全運転を心掛けてください。
ご利用の際はヘルメット・膝パッド・肘パッドの着用をおすすめ致します。

3 動かしてみよう!

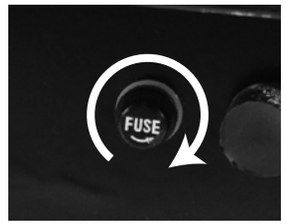
動かしてみよう・充電しよう



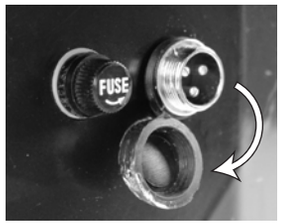
1 ボディ右側面にあるフューズボックスのキャップを外す。

2 ヒューズをキャップに差し込む。同時に割れや断線がないか調べる。

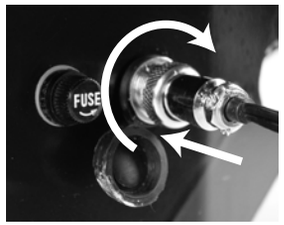
3 キャップにヒューズをセットしたらヒューズボックスに装着する。



4 ヒューズボックスのキャップをしっかりと閉める。

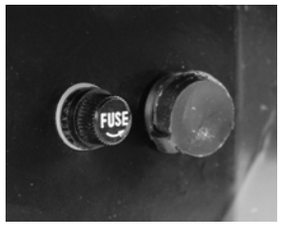


5 ボディ横の充電ソケットの蓋を開ける。

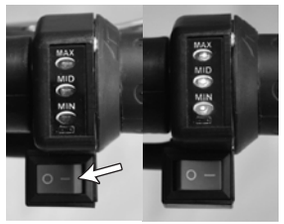


6 ソケットに充電アダプターのプラグを差し込みネジを回し固定する。

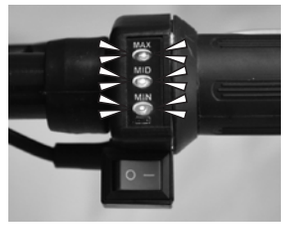
7 充電完了の緑ランプを確認したら充電アダプターを取り外す。上限6〜10時間が目安。



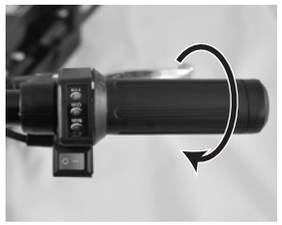
8 ソケットの蓋をきちんと締める。※水などの異物が入ると故障の原因となります。



9 スイッチを押し、電源をONにする。下段、大きなボタンを押すとONとなります。



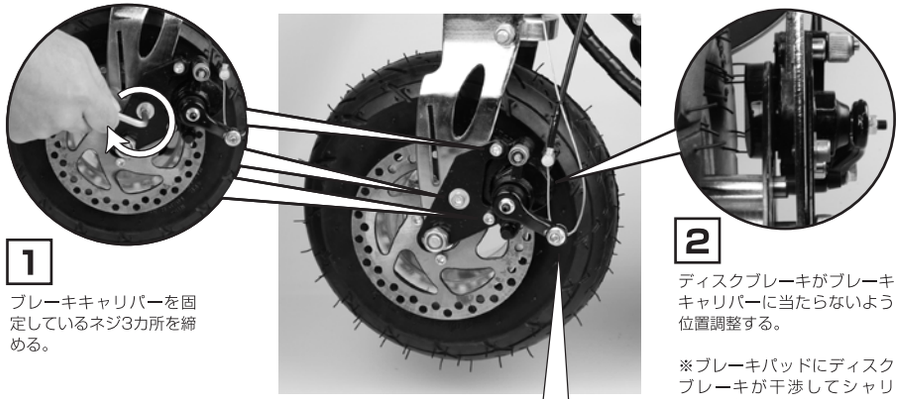
10 満充電の場合、全てのランプが点灯します。



11 アクセルをゆっくり絞り、ガタつきなどないか確認する。

4 調整しよう!

ブレーキを調整しよう　※前後輪ブレーキの調整は同じです



1
ブレーキキャリパーを固定しているネジ3カ所を締める。

2
ディスクブレーキがブレーキキャリパーに当たらないよう位置調整する。

※ブレーキパッドにディスクブレーキが干渉してシャリシャリ鳴る場合がありますが、タイヤを手で回して、すぐに止まらなければ問題ありません。タイヤを手で回して、すぐに止まってしまう様なら再度調整する。

3
ブレーキワイヤーの固定ネジを緩める。

ペンチでワイヤーを引っ張りブレーキを調節。ワイヤーを引っ張りながらブレーキワイヤーの固定ネジをしっかりと絞める。

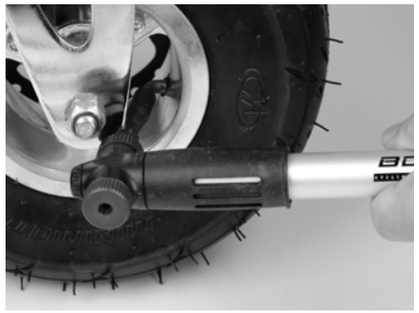
ブレーキパッドがディスクブレーキに干渉しているときは調節ネジでブレーキキャリパーを調節する。

空気圧を調整しよう

前輪バルブ

後輪バルブ

1
バルブの口にエクステンションバルブをねじ込んで装着する。

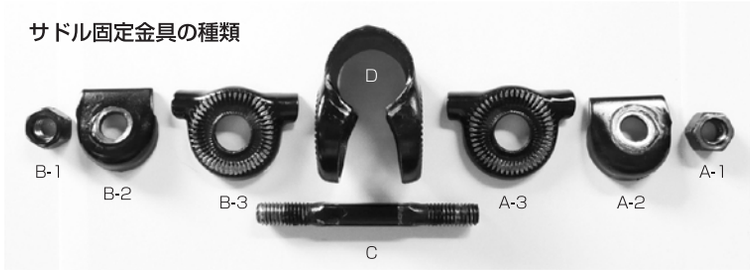


2
空気入れの口を装着し、適正空気圧まで空気を入れる。入れ終わったらエクステンションバルブを取り、キャップをする。
※適正空気圧は下記いずれかに合わせて下さい
ピーエスアイ = 30P.S.I(タイヤ側面に記載)
キログラム/平方センチ = 2.1kgf/㎠
キロパスカル = 210kPa

5 組立て・調整しよう!

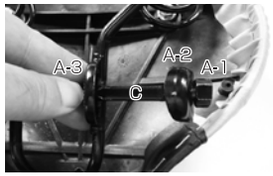
サドルを組立て・調整しよう

サドル固定金具の種類

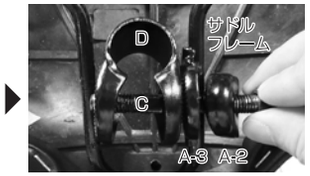


※部品の形と数を確認しましょう

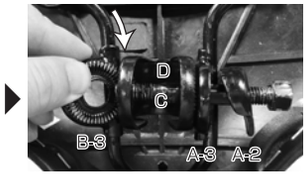
サドル固定金具の取付位置と順番



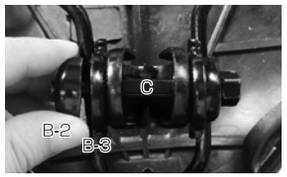
1
CにA-2を通し、A-1を仮止めしておく。仮止めしておいた部品をA-3に通す。その際、A-2とA-3の丸い部分同士が合うようにする。



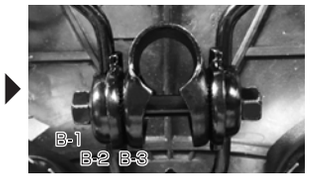
2
手順1の状態で更にDの左右の穴に通す。A-2とA-3でサドルフレームを凹み部分で挟む。



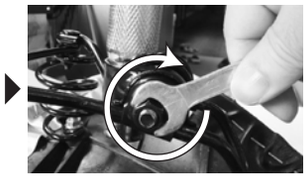
3
Dとフレームの間にB-3を入れ、Cを穴に通す。この時、B-3をサドルフレームに沿って滑り込ませると簡単です。



4
手順3の状態でB-2の穴にCを通してB-2とB-3でサドルフレームを挟むようにする。



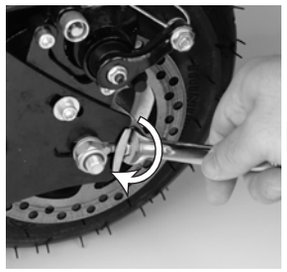
5
B-1で仮止めする。



6
手順5の状態でサドル軸を穴に通し、本締めする。この時サドルの角度を決めてからしっかりと絞めて固定する。

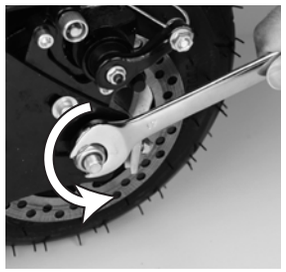
後輪タイヤを組立て・調整しよう　タイヤ交換・チェーン調整

■ 後輪タイヤを外す



1 左右のテンション調整ネジを緩める。

テンション調整ネジを緩めた状態。

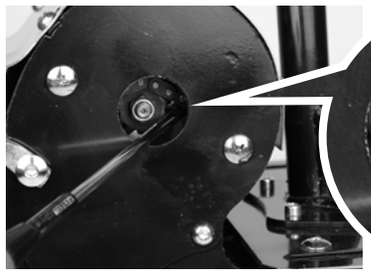


2 左右、後輪軸のナットを緩める。

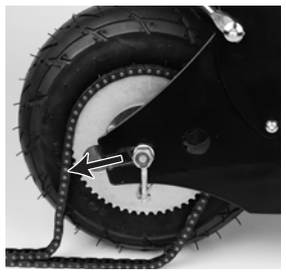
左右のテンション調整ネジと後輪軸を緩めた状態。

3 後輪ブレーキ固定ネジを緩める。

4 後輪タイヤ固定ネジをスリットの奥まで押し込む。



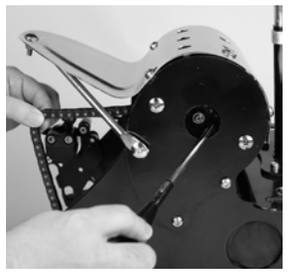
5 ドライバーなどでチェーンを下から持ち上げるようにギヤから外す。



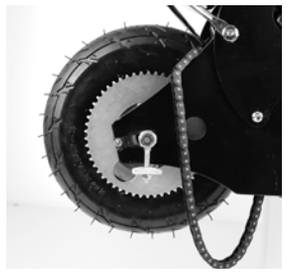
6 後輪は軸を付けたままスリットから後方へ引き抜く。

後輪タイヤを組立て・調整しよう　タイヤ交換・チェーン調整

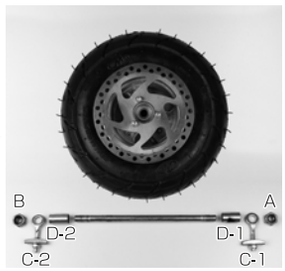
■ 後輪タイヤを取り付ける -1



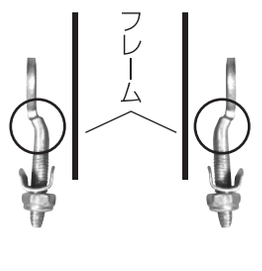
1 モーター後方からチェーンをドライバーなどでギヤに巻きつける。



2 チェーンをボディフレームに掛けておく。

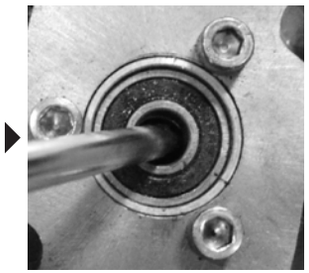


3 後輪タイヤの準備をする。部品と取付順は上図。

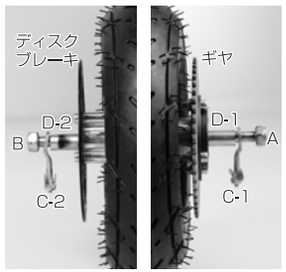


※テンション金具の取付方に注意してください。

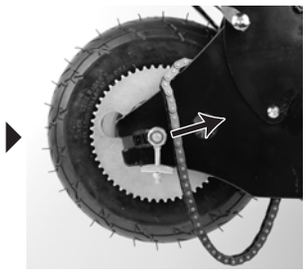
タイヤに軸を通す際、ホイールの中のスペーサーが上図のようにずれている場合があります。



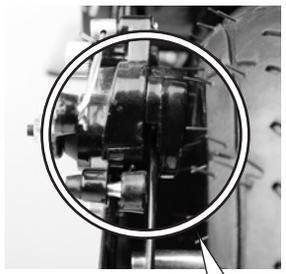
ドライバーなどで中のスペーサーの位置を調整して軸を通す。



4 タイヤに上図の様に部品を通し、AとBで仮止めしておく。



5 スリットに沿って後輪軸をフレームに装着。奥まで押し込む。



6 ディスクブレーキをブレーキパッドの間に入れる。

5 組立て・調整しよう!

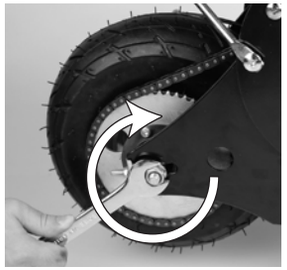
後輪タイヤを組立て・調整しよう　　タイヤ交換・チェーン調整

■ 後輪タイヤを取り付ける -2

7 ギヤの下方からチェーンを巻きつける。

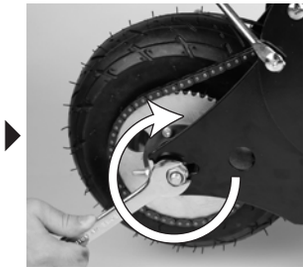
8 チェーンをギヤの下方に巻きつけたらチェーンがギヤに完全に巻きつくまでタイヤを回す。

9 左右のテンション金具を仮止めする。



10 左右、後輪軸のナットを仮止めする。

11 左右のテンション金具でチェーンのテンション(張り具合)を調整する。チェーンは張り過ぎないよう注意。



12 テンションを調整したら右、後輪軸のナットを締めて固定する。

13 左後輪軸のナット、テンション金具、ブレーキ固定ネジを締める。

14 タイヤを回してガタつきやブレが無いか確認する。安全な場所でテスト走行しましょう。

6 動かない時はチェック・交換しよう!

故障かな? と思った時のチェック項目

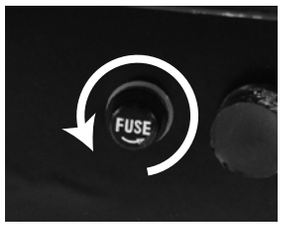
動かない!? 故障かなと思ったら

項目順にチェックしましょう。
手順に従って、チェックと交換を行って下さい。

- ☐ **①ヒューズは差し込まれていますか?** ⇒【P14　STEP-1 参照】
- ☐ **②ヒューズに変色、破損、断線はありませんか?** ⇒【P14　STEP-1 参照】
- ☐ **③バッテリープラグは外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-2 参照】
- ☐ **④リレー回路のプラグは外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-2 参照】
- ☐ **⑤プラグの電極は外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-2 参照】
- ☐ **⑥バッテリーに断線はありませんか?** ⇒【P15　STEP-2 参照】
- ☐ **⑦充電アダプターとバッテリーの状態を確認しましょう** ⇒【P15　STEP-3 参照】

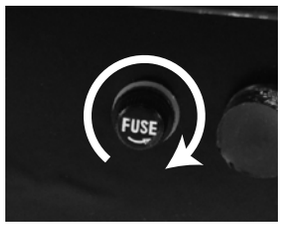
STEP-1 ヒューズをチェック・交換しよう

■ 動かない・充電できないときは、まずヒューズをチェックしてください。



1 ボディ右側面にあるヒューズボックスのキャップを外す。

2 キャップにヒューズをセットしたらヒューズボックスに装着する。



3 ヒューズボックスのキャップをしっかりと閉める。

まれに走行中の振動で断線したり、水分の侵入によりショート、断線したりすることがあります。ヒューズは消耗品となります。こまめなチェックをお勧めします。

ヒューズはカー用品販売店やホームセンターにもございます。本製品に付属していたヒューズをお持ちになり、各販売店でお問い合わせください。

STEP-2 プラグ、断線をチェックしよう

■ プラグや断線をチェックしましょう。

バッテリーのプラグが外れていないかチェック。

リレー回路のプラグが外れていないかチェック。

プラグの電極が外れていないかチェック。

バッテリーの電極接合部分が外れていないかチェック。

WARNING

出荷時に検品は行っておりますが、輸送中の揺れや衝撃により、まれにプラグやコードが外れてしまう場合がございます。天板を開けてこれらをチェックしてください。

電極や電気コードの作業をする際は感電の危険があり大変危険です。
必ずバッテリーのプラグを外して作業を行ってください。

STEP-3 ランプでチェックしよう

症状と考えられる原因

ヒューズの確認、プラグ外れ、断線がないか、天板を開けチェックしてください。
異常が無い場合、下記の方法でチェックすることができます。※14・16ページ参照

本体電源 ON のとき

電池残量メーター

充電アダプター

電池残量メーター点灯 → 正常
電池残量メーター消灯 →「リレー回路」「バッテリー」

電池残量メーター点灯でアクセル ON のとき

動く → 正常
動かない →「バッテリー」「アクセル」「リレー回路」「モーター」
充電アダプターを挿した状態で動かない →「アクセル」「リレー回路」「モーター」

充電アダプターをコンセントに挿したとき

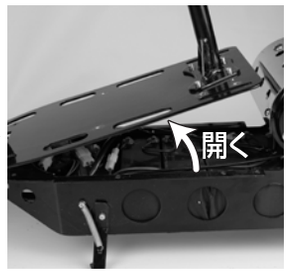
充電アダプターのランプ（緑）→ 正常
充電アダプターのランプ（赤または消灯）→ 不良

充電アダプターをコンセントに挿し、デビル 3 本体に繋いだとき

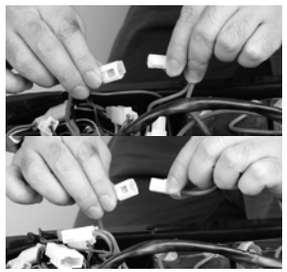
充電アダプターのランプ（緑 → 赤）充電完了時に充電アダプターのランプ（緑）へ変化 → 正常
充電アダプターのランプ（緑 → 赤）すぐに充電アダプターのランプ（緑）へ変化 → 正常
充電アダプターのランプの色が変化しない → 不良（充電時間最大 10 時間を目安に充電）
※充電アダプターのランプの変化は充電完了を前提としています。

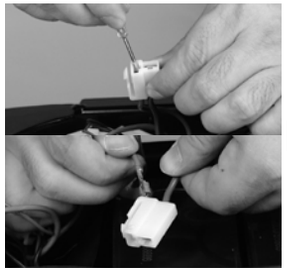
バッテリーを交換しよう

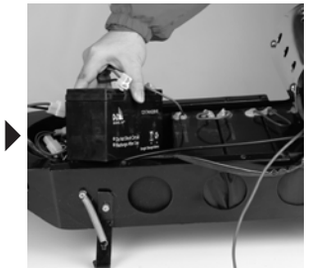
1 天板の留め具8か所を六角レンチとスパナを使って外す。



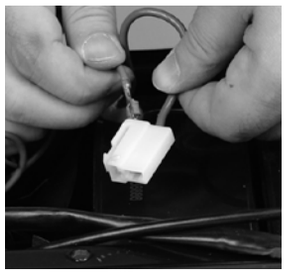
2 天板の後方を持ち上げ、後方に引きながら天板を外す。

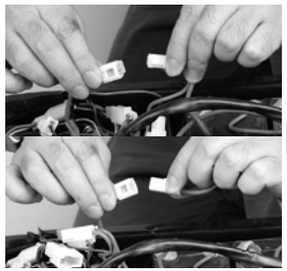

3 バッテリーのプラグ2本を外す。


4 リレー回路に繋がっているプラグの電極を外す。マイナスドライバーなどで電極の爪を押さえ、電極を抜き取る。


5 バッテリーは前方から一つずつ取り出す。重いのでケガに注意しましょう。

6 新しいバッテリーを用意する。後方から一つずつセットしていく。


7 プラグにリレー回路からの電極をはめ込む。プラグの後方から奥まで差し込み、抜けないか確認する。


8 バッテリーのプラグ2本を取り付ける。

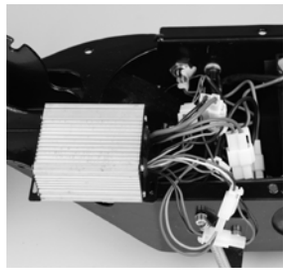
9 天板を上図のように前方からセットする。天板を固定するネジ8カ所をしっかりと絞める。

6 チェック・交換しよう!

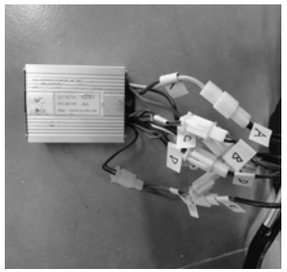
リレー回路を交換しよう

1 天板の留め具8か所を六角レンチとスパナを使って外す。

2 天板の後方を持ち上げ、後方に引きながら天板を外す。

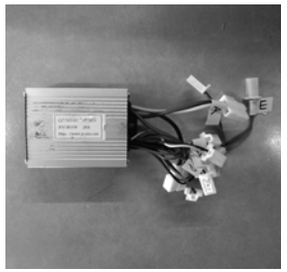


3 リレー回路をボディ横に出しておく。

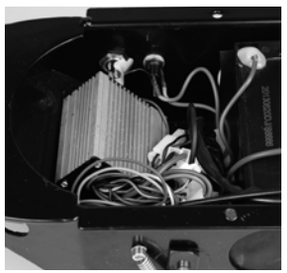


4 リレー回路の全てのオス·メスのコードに対となる記号(タグ)を付け、外した後も対となるプラグが分かるようにしておく。

5 リレー回路に繋がっているプラグを全て外す。



6 取り外したリレー回路のタグをヒントに新しい回路を結線していく。※コードの色の組み合わせが異なっている場合、タグをヒントに作業する。



7 タグをヒントに結線する。結線が完了したら上図のようにリレー回路とコード類をまとめる。

8 天板を上図のように前方からセットする。天板を固定するネジ8カ所をしっかりと絞める。

9 天板がしっかりと閉まったのを確認したら、動作テスト後、ゆっくりとテスト走行して安全を確認する。

7 メンテナンスしよう!

メンテナンスしよう

定期的に点検して必要なら油を注して下さい。また、キシミやスムーズに動かない場合も適量の油を注して下さい。

ブレーキパッド、ディスクブレーキ、ハンドルグリップ、ステップ(天板)には危険ですので絶対に油を差さないで下さい。

その他点検のポイント

- ●チェーンの張り(テンション) ····· 13ページ参照
- ●ブレーキの効き ····· 安全な場所でテスト走行して確かめる9ページ参照
- ●サビ ····· 市販の錆取で錆を落とし、油など保護剤を塗布する
- ●ブレーキの減り ····· ブレーキパッドやディスクブレーキの減りをチェック
- ●ガタつき ····· サドル、サスペンション、ハンドルなどガタつきをチェック

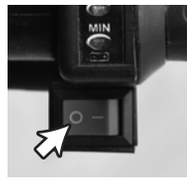
バッテリーについて

使用前の充電について

本製品が届いた際、メーターの表示が充電済みであっても検品のための充電が残っている状態です。
使用前に**6〜10時間の充電**をお勧めします。

使用後の充電について

●濡れた手で充電を行わない　●専用バッテリー以外使用しない
●充電器をお子様に触れさせない ※充電は必ず保護者の方が行ってください



インパネ下、赤いスイッチの「○」を押し、電源OFF の状態で作業する。

- 必ずバッテリーの充電量がゼロになる前に充電する。
  充電池の特質上、充電残量が完全に無くなると充電出来なくなります。
- 使用後および収納前に充電する。
  放電により充電残量が完全に無くなるのを予防するためです。
- 長期間使用しない場合、一月に一回程度充電する。
  放電により充電残量が完全に無くなるのを予防するため、定期的に充電してください。
- 安全のため24時間以上の充電はしない。
  過度な充電はバッテリー故障の原因だけでなく、火災などの原因となります。
- 使用しないときは本体電源をOFFにしてください。
  放電の予防、機械的なトラブル防止のため、電源をOFF状態にしてください。

過充電・放置放電は故障の原因です
バッテリーの充電量が完全に無くなると再充電できなくなります。
充電のサイクルは必ず守りましょう。

バッテリーが弱ってきたと感じたら・・・
市販でバッテリー再生機がございます。
再生機を使えば買い替えよりお得になる場合がございます。

水濡れに関して

防水仕様ではございません。

故障の原因となります。水溜りでの走行は避けて下さい。
水濡れが原因の故障につきましては、保証期間であっても保証の対象外となります。

- 雨上がり、積雪、雪解けなど水溜りにご注意ください。
- 洗車は絞った雑巾などで拭いてください。
- もし濡れてしまったら、乾いた布でふき取り、乾燥させてください。
- 濡れた手で作業をしないでください。感電の危険があります。

故障かな？ と思ったら

●充電しても長く使えない・・・・・・・・バッテリーの寿命です。交換時期です。
●スロットルを開けても動かない・・天板を開けて配線外れがないか確認。問題無い場合、充電が十分でないか、バッテリーの寿命です。
●走行中、突然止まる・・・・・・・・・・・・電源をOFFにし、モーターが冷えるのを待つ。ヒューズを確認。新しい物と交換する。
●急に動かなくなった・・・・・・・・・・・・スイッチを一度OFF。数秒待ってONにする。ヒューズを確認。新しい物と交換する。

お問い合わせの前に

●ヒューズが切れていないか確認して下さい。
●充電アダプターを接続した状態と外した状態、それぞれの充電残量メーターのランプ点灯状態を確認してください。
●天板を開け、プラグ外れや断線が無いか確認して下さい。

■チェック項目・手順は**14、15ページ**をご覧ください。

問題が解決しない場合、または商品に関して
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

9 保証に関して

保証の対応・内容に関してのお問い合わせは、まずご購入先の販売店へご連絡ください。

商品到着後、すぐにテスト走行をお願いします!

お客様がご購入になった販売店を通じて、株式会社 JAPAN CREATE でアフターサービスを行います。弊社規定により、以下のように本製品に対して保証を致します。

お問い合わせの際、お客様のお名前・お電話番号・ご購入のシリーズ名・お問い合わせ部分の写真が必要となります。予めご確認・ご準備をお願いいたします。

初期不良の場合、返品・交換OK

商品**お届け後、7日以内の初期不良**の商品に関しては無償修理・交換させて頂きます。※付属の工具はサービス品の為、保障の対象外となります。

保証期間内は大切に保管！

商品が入っていた段ボールは大切に保管してください。

段ボールを保管されていない場合、返品・交換の際の段ボール代として料金が発生いたします。

保証の条件

※取扱説明書をよく読み、注意事項を守ってご使用ください。
※商品が入っていた**段ボールと付属品が全て**揃っていること。
※保証期間であってもご使用状況によっては有償対応となる場合がございます。
※ご利用状況によりベルトやタイヤ等の消耗部品の劣化には差が生じます。
　消耗部品は保証期間内であっても有償となる場合がございます。
※お客様で改造・仕様変更などされた商品は保証の対象外となります。
　予めご了承ください。

◆ お客様都合による返品・交換に関して

お客様都合による返品・交換の際の送料・手数料などはお客様ご負担とさせていただきます。
※お客様都合による商品の返品・交換は原則お受けしておりません。

下記のような場合、お客様都合の返品となり別途料金が発生します。
●イメージ・乗り心地が想像と違ったなど、雰囲気による理由の返品
●小傷による返品
●サイト上の画像と実物の色・風合いなどの違いによる返品
●出荷完了後のキャンセル
※商品は生産ロットにより、予告なく仕様を変更する場合がございます。

10 ラインアップ

電動キックボード・電動バイクのラインアップ！

A ゼウス
超ハイパワー/時速：40km
モーター：800w
バッテリー：12V 12AH/20HR ×3

B デビル3
ハイパワー/時速：35km
モーター：500w
バッテリー：15V 7AH/20HR ×4

C モンキー50
上級者用/時速：16km
モーター：180w
バッテリー：12V 7AH/20HR ×2

D モンキー40
上級者用/時速：16km
モーター：180w
バッテリー：12V 7AH/20HR ×2

E モンキー30
入門用/時速：15km
モーター：120w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

F チョッパーLED
入門用/時速：15km
モーター：120w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

G チョッパー
入門用/時速：15km
モーター：100w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

**バッテリー、タイヤ
モーター など**

部品販売は
JAPANCREATE が
承ります

お問い合わせ
050-5526-9867
https://cyber.japancreate.jp